

# 第4回 大規模災害セミナー

## ～ 高潮災害講座 ～

### － 伊勢湾台風から50年、大阪湾の高潮リスク軽減を考える －

1959年（昭和34年）9月26日に紀伊半島に上陸した台風15号（伊勢湾台風）は、伊勢湾沿岸地域に甚大な被害を与えました。この台風規模はわが国最大であり、高潮常襲地帯である東京湾、伊勢湾、大阪湾、有明海などは、高潮規模の決定、すなわち計画高潮の決定を行う際、高潮を起こす最悪のコースを伊勢湾台風のモデルを走らせるということで決めてきました。これが今から50年ほど前のことです。当時からすれば社会は激変し、高度化、多様化してきましたが、災害が発生したときに、どのような被災形態になるのか事前に予測し、的確な対策を立てることが難しくなってきました。

伊勢湾台風から50年を経過した今、あらためて大阪湾の高潮被害を軽減するために何ができるのか、何をすべきなのかについて考えてみましょう。

- ◆開催日時 : 2009年9月10日（木）10:15～16:30（9:50 開場・受付開始）
- ◆開催会場 : ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）  
〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-49
- ◆募集定員 : 500名（先着順）
- ◆テキスト代（税込み） : 一般 ¥2,500円  
主催・共催・協賛・後援関係者 ¥2,000
- ◆参加申込方法 : NPO法人 大規模災害対策研究機構（CDR）ホームページ  
（<http://e-tsunami.com/>）  
または、下記、事務局までお問い合わせください。

- ◆主催 : 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）
- ◆共催 : 国土交通省近畿地方整備局
- ◆協賛 : 大阪湾高潮対策協議会
- ◆後援 : 近畿建設協会

#### 【お問い合わせ先・お申し込み先】

- ◆事務局 : 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局  
〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20（株）ニュージェック技術開発グループ気付  
Tel : 06-6374-4420 Fax : 06-6374-5108  
E-mail : [cdr@newjec.co.jp](mailto:cdr@newjec.co.jp)  
ホームページ : <http://e-tsunami.com/>

## 講師紹介

(敬称略)



河田恵昭

(CDR 理事長、関西大学／理事、環境都市工学部／教授、京都大学名誉教授)

「地球温暖化による大阪湾の高潮危険性の増大」



中村文彦

(国土交通省近畿地方整備局 防災対策官)

「大阪湾高潮対策協議会で検討している課題と方向性」



平石哲也

(独立行政法人 港湾空港技術研究所／海洋・水工部長)

「地球温暖化時代の高潮災害と対策の世界的動向」



矢守克也

(CDR 理事、京都大学防災研究所巨大災害研究センター／教授)

「高潮情報のあり方」



宇田川真之

(財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター／主任研究員)

「高潮災害と住民の避難について」

## プログラム

(敬称略)

- 9 : 50 開場・受付開始
- 10 : 15 開会挨拶
- 10 : 15～11 : 00 『地球温暖化による大阪湾の高潮危険性の増大』 (河田恵昭)
- 11 : 00～11 : 30 『大阪湾高潮対策協議会で検討している課題と方向性』 (中村文彦)
- 11 : 30～12 : 15 『地球温暖化時代の高潮災害と対策の世界的動向』 (平石哲也)
- 12 : 15～13 : 30 (昼 食)
- 13 : 30～14 : 15 『高潮情報のあり方』 (矢守克也)
- 14 : 15～15 : 00 『住民避難等の事例について』 (宇田川真之)
- 15 : 00～15 : 15 (休 憩)
- 15 : 15～16 : 30 パネルディスカッション『これからの大阪湾の高潮リスクを軽減する』  
コーディネータ：河田恵昭  
パネリスト(50音順)：  
宇田川真之、中村文彦、平石哲也、矢守克也、川本清 (大阪市港湾局長)
- 16 : 30 閉 会